

修了後も・・・学びを継続できるフォローシステム

修了後のキャリアと学びの発信、博士課程における学びへの接続

学校経営コース修了後は、多くの方が大学院での研究を活かして学校改善などに取り組んでいます。学校管理職としての立場や、教育委員会における教育行政専門職等としての立場を得て活躍する例も多数あります。

また、そうした各地域や学校において取り組まれている実践については、学会等のコミュニティで研究発信を継続している方も多数あります。さらに研究を発展させて博士課程に進学される例もあるほか、大学教員などの研究職のキャリアを選択し、後進の指導にあたる例もみられます。



修了生・卒業生への情報発信や情報交換が行える Hyokyo-net ▶

修了生ネットワークを介して、実務における専門性をサポート

兵庫教育大学内には「修了生・卒業生連携センター」が設置され、大学院同窓会・学部同窓会と連携して修了生・卒業生・学生の皆さんの教育実践や研究活動を支援しています。

また、全国に大学院同窓会支部が置かれ、修了生間の情報交流をはじめ、その職務における専門性を支える様々な活動が行われています。

なお、学校経営コースには、本コース修了生を対象とした独自の同窓会があります。さらに、本コース修了生が多く在籍する自治体には、自治体単位での同窓会が組織されるなど、地域ごとの教育政策や学校経営の文脈に根ざしたフォローシステムを運用しています。

学校経営コース担当教員

教授 川上 泰彦
研究分野 教育政策、教育行政学、教育経営学
担当科目 学校・教育委員会の経営と財務
学校・教育委員会のEBPMと評価

国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。

教授 神内 聡
研究分野 教育法、教育制度、社会科教育
担当科目 学校危機管理の理論と実践演習
教育法規の理論と実践演習

教員と弁護士の双方の視点から、教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。

准教授 三浦 智子
研究分野 教育経営学・教育行政学
担当科目 学校マネジメントによる組織活性化

学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズにตอบสนองするプロセスや仕組みを研究しています。

客員教授 浅野 良一
学校組織の活性化プロセスとその実現に向けたリーダーシップを研究しています。

客員教授 中井 啓之
私立中高校で現職の校長として学校経営に携わっています。大学院での修学経験を生かした指導に努めます。

客員教授 嶋 公治
市教育研修センター所長、学校長、教育長の経験があります。学校経営や教育行政の運営に関して皆さんの研究のお手伝いをしたいと思います。

客員教授 松村 高志
中学校、高校、支援学校で教諭、15年間の教育行政、10年間の支援学校校長の経験があります。皆さんと一緒に考え意見交換することを楽しみにしています。

客員教授 宮本 美枝子
高校の現職校長として学校経営に携わっています。大学院での修学経験も生かしながら、特に実践面での指導に努めます。

Q&A

Q1. これまでの修了生の人数は？

A1. 学校経営コースは、大学院修士課程・教育経営コース（2004年度入学生まで）、スクールリーダーコース（2005・2006年度入学生のみ）、学校指導職専攻（2007年度入学生のみ）を経て、教職大学院・学校経営コース（2008年度入学生以降）に改編し、現在に至ります。教職大学院移行後は、200名を超える修了生を輩出しています。

Q2. 学校経営コースの大学院生はどこの自治体から？

A2. 地元兵庫を中心に、北海道、秋田、岩手、山形、新潟、茨城、埼玉、東京、神奈川、岐阜、静岡、愛知、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、岡山、広島、鳥取、山口、香川、福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄等の都道府県及び海外から大学院生を受け入れた実績があります。

【問い合わせ先】兵庫教育大学大学院 入学相談室

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 TEL: 0795-44-2359 FAX: 0795-44-2011 E-mail: guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp



兵庫教育大学大学院

【専門職学位課程】教育実践高度化専攻 学校経営コース 昼間クラス/フレックスクラス

School Leadership and Management



学校経営・教育行政の スペシャリストをめざす

全国各地の学校経営職・教育行政職を育成する教職大学院

他の教職大学院にはない、**対面とオンライン**を選べる新たな学びのスタイル

学校経営・教育行政にかかる**理論を学び、省察を介した実践力**を磨くカリキュラム

地域や職種・校種を超えた学修のコラボレーション

修了後も**学びを継続**できるフォローシステム

対面とオンラインを選べる 他教職大学院にはない、新たな学びのスタイル

ハイフレックス型の授業・研究指導展開により、修学と勤務の両立を実現します。



| 昼間クラス 2年 | フレックスクラス 2年または3年 |
|--|-------------------------|
| 共通基礎科目 オンライン授業 | 共通基礎科目 オンライン授業 |
| 専門科目 対面授業中心 | 専門科目 オンライン授業中心 |
| 専門科目 | 専門科目 |
| 授業の2割程度を昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業(神戸キャンパス)またはオンライン授業(同時双方向) | |
| 課題研究 昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施(神戸キャンパス) 対面授業(神戸キャンパス)またはオンライン授業(同時双方向) | |
| インターンシップ(実習) 学校または教育委員会 | インターンシップ(実習) 申請により免除 |

*上記のほか、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供しています。
*昼間〜フレックスクラス合同の授業では、地域や職種・職種横断的な大学院生の交流を重視しています。

学修プロセスの一例



学修のコラボレーション 地域や職種・校種を超えて

- ▶全国各地より、国立・公立・私立学校・保育園／校長、教諭等、栄養教諭、事務職員／教育委員会指導主事等の進学実績があります。
- ▶地域を超えて、多様な学校経営・教育政策に関する学びと情報の交流が行われています。

<過去の教育実践研究報告書テーマ(例)>

- 【小学校】**
- ▶ 少人数指導加配教員の機能性に影響を与える要素 - 学力向上推進リーダーへの質問紙調査から -
 - ▶ 小中合同の学校運営協議会で創る学校 - コミュニティ・スクールの仕組みの活用 -
 - ▶ 地域住民・保護者と「つながる」カリキュラムマネジメントの創造
- 【中学校】**
- ▶ 一貫教育の活性化を推進するためのスクールミッションの再構築と学校組織再編 - 義務教育学校への移行に向けた開校プランの提示 -
 - ▶ プロセスマネジメントをベースとした開発的改善 - 生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善 -
 - ▶ 中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察 - 社会に開かれた教育課程の実現をめざして -
- 【高等学校】**
- ▶ 機能する学校組織の在り方についての考察 - 主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に -
 - ▶ 「学習する組織」としての高等学校の授業改善 - コミュニティ・スクールの仕組みを活用して -
 - ▶ 探究的な学習によるグローバル・リーダーの育成 - カリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチ -
 - ▶ 予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新 - 地域産業をリードする人材の育成 -
 - ▶ 地域の進学校として選ばれ続ける学校となるための方策 - 地域の教育資源を生かしたキャリア教育推進の視点から -

カリキュラム 理論を学び、省察を介した実践力を磨く

- ▶ 授業は幅広い領域の共通基礎科目と、現代的課題を盛り込んだ専門科目から構成されています。
- ▶ インターンシップ実習や課題研究を軸に、理論と実践を往還するカリキュラムを展開しています。



共通基礎科目

| 領域 | 授業科目名 |
|--------------------|------------------------|
| 教育課程の編成・実施に関する領域 | 特色あるカリキュラムづくりの理論と実際 |
| | 教育課程の制度的特質と課題 |
| 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 実践的な指導方法に関する理論と実際 |
| | 授業における評価の基準作成理論と学力評価法 |
| | 授業における ICT 活用 |
| 生徒指導、教育相談に関する領域 | 初等各教科の教材研究・授業づくり(10科目) |
| | 包括的児童生徒支援に関する事例研究 |
| 学級経営、学校経営に関する領域 | 学校における道徳教育の実践研究 |
| | 教員のための学校組織マネジメントの実践演習 |
| 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 児童生徒を活かす学級経営の実践演習 |
| | 教員の社会的役割と自己啓発 |
| | 教員のための人権教育の理論と方法 |
| | 学校における特別支援教育への対応と方法 |

*開設授業科目を変更する場合があります。

専門科目

| 領域 | 授業科目名 | 現代的課題と特色 |
|----------------|------------------------------------|---|
| 教育行財政・法規に関する分野 | 学校・教育委員会の経営と財務 | 学校経営や自治体教育行政を展開する上で不可欠な諸制度を理解し、先進自治体や先進校の施策がどのように成立しているかを学び、施策立案のヒントを収集します。 |
| | 学校・教育委員会の EBPM (エビデンスに基づく政策立案) と評価 | どのようにして根拠・分析に基づいた教育政策の企画・立案 (EBPM) が行われ、どのようにしてその成果が評価され、改善に結びつけられるのか、一連の体系を学びます。 |
| | 教育法規の理論と実践演習 | 保護者対応・いじめ対応・教員の労働問題など、現場で日常的に発生する法的トラブルについて、スクールロイヤーとともに実践的に検討します。 |
| 学校組織開発に関する分野 | 学校マネジメントによる組織活性化 | 学校の活性化を実現するため、学校の状況に応じたリーダーシップのあり方と、「つかさどる事務職員」の活躍が期待される業務改善の理論と具体的方法論を学びます。 |
| | 教職員の人材育成システムの構築と運用 | 教職員の能力開発を OJT・研修だけでなく、人事管理の側面からも学びます。また、初任者・若手育成のためのメンター制度の考え方や具体的な進め方を学びます。 |
| 学校経営実践に関する分野 | 学校・地域協働の理論とデザイン | 自校や自校を取り巻く地域の強みを生かしたスクール・コミュニティの実現を目指し、地域と学校の関係形成に関する理論と先進事例を学びます。 |
| | カリキュラム・マネジメントと学校のオープン・イノベーション | 地域や社会に開かれた学校づくりのカギを握るカリキュラム・マネジメントについて、カリキュラム研究の理論を検討しながら、実践に益する方法を探ります。 |
| | 学校危機管理の理論と実践演習 | 学校事故・感染症対策・個人情報管理など、広範多岐にわたる学校危機管理の論点について、具体的なケースと豊富な裁判例を用いて、スクールロイヤーや研究者とともに実践的に検討します。 |

*開設授業科目を変更する場合があります。

- 【特別支援学校】**
- ▶ 児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり - カリキュラム・マネジメントによるデザイン -
 - ▶ 地域とともに共生社会を実現する学校 - 児童生徒が卒業後に自分らしく生きるために -
- 【私立学校】**
- ▶ 主観的エフォートを用いた人事マネジメントの可能性 - 私立学校における主観的エフォート調査の試み -
 - ▶ 私学経営における学校ブランディングの活用 - インナーブランディングとアウトナーブランディングによるブランド力向上 -
- 【学校事務】**
- ▶ コミュニティ・スクール始動を契機にした学校改善 - 「地域とともにある学校」のマネジメントと事務長が果たす役割 -

- 【教育委員会】**
- ▶ 教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方 - 新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探る -
 - ▶ 「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案 - B 県型地域連携教育の取組の充実を通して -
 - ▶ 小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策 - 若手教員の育成を中心に -
 - ▶ 学校現場の諸課題に寄り添う県・市町教育委員会の連携の在り方
 - ▶ 教育委員会の学校コンサルティング機能を強化と学校支援の仕組みの構築 - C 市学校教育活性化のための評価運動モデル -
 - ▶ 施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援 - 持続可能な支援体制の構築を目指して -